

近現代日本とエホバの証人

—その歴史的展開—

宗教社会学

やまぐち みずほ

山口瑞穂著

▼46判・上製カバー・332頁・定価三、三〇〇円

2022年4月刊行



エホバの証人は日本においていかに展開したのか。いまだ学術的な検討がなされていないその課題に挑み、通史的に論じた画期的成果。

【目次】

序章 外来のキリスト教系新宗教の分析視座

一 問題の所在／二 分析視座と分析枠組

第一章 エホバの証人の救済観と組織観

一 エホバの証人における終末論と社会志向性／二 エホバの証人の救済観と「神権組織」

第二章 灯台社の時代…一九二六年から一九四七年

一 前史…明石順三について／二 日本におけるワッチタワーの展開／三 最初の弾圧から投獄まで／四 釈放から灯台社の終焉まで

第三章 不確定の時代…一九四八年から一九七〇年代半ばまで

一 宣教師の派遣／二 宣教師による布教活動…一九五〇年代／三 日本人信者の動員…一九六〇年代から一九七〇年代半ばまで／四 日本人信者による支部運営の開始

第四章 柔順の時代…一九七〇年代半ばから一九九〇年代半ばまで

一 世界本部の布教方針と日本支部の教育プログラム／二 信者たちの布教生活／三 教団内外における「課題」と対応

第五章 忍従の時代…一九九〇年代半ば以降

一 入信者の減少とその背景／二 離脱者の増加とその要因／三 世界宣教における日本支部の位置

結章 日本のエホバの証人における〈本部志向〉とは

一 教説と布教方針の係数としての〈本部志向〉／二 拡大要因／停滞要因としての〈本部志向〉

資料編 世界各国の信者数等の推移

参考文献／初出一覧／あとがき／索引

◆著者略歴

二〇二二年三月、佛敎大学大学院社会学研究科社会学専攻博士後期課程修了。博士(社会学)。主な論文に「日本におけるエホバの証人の展開過程—終戦から一九七〇年代半ばまで—」(『宗教研究』三九〇号、二〇一七年)がある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
山口瑞穂著 法藏館 定価三、三〇〇円 近現代日本とエホバの証人 —その歴史的展開— ISBN:978-4-8318-5724-8 C1014	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
<http://www.hozokan.co.jp> info@hozokan.co.jp